

|      |                                 |                                   |  |
|------|---------------------------------|-----------------------------------|--|
| 評価基準 | 4・・・そう思う(75%以上達成)               | 2・・・どちらかといえばそう思わない(25%以上～50%未満達成) | 調査人数(令和7年9月調査) 「4」・「3」と回答した割合(%)<br>保護者 240人(70%) 生徒 293人(85%) 教職員 25人(100%) |
|      | 3・・・どちらかといえばそう思う(50%以上～75%未満達成) | 1・・・そう思わない(25%未満達成)               |  |

| 学校教育目標   |   | 学習指導・学習意欲と規律の向上  |
|--|---|--|
| 1 教育方針・目標の理解   | 教職員 学校は、校訓や教育目標などの教育方針を、子どもや保護者、地域に示していると思いますか。 | 3 授業づくりの工夫   |
|  | 生徒 先生方は、校訓の意味や学校の目標などを示し、わかるように教えてくれていると思いますか。  | 教職員 あなた(先生方)は、学習課題や活動を明確にし、わかる授業づくりに努めていると思いますか。   |
|  | 保護者 学校は、家庭に校訓や教育目標など学校の教育方針を示していると思いますか。        | 生徒 先生方は、学習課題や活動内容を明確に示し、わかりやすく丁寧に教えてくれますか。   |
| 教職員 100%<br>生徒 88%<br>保護者 85%  |   | 保護者 先生方は、学習課題や活動内容を明確に示し、わかりやすく丁寧に教えていると思いますか。   |
| 分析・考察  |   | 分析・考察  |
| 職員は100%、生徒が88%、保護者が85%だった。4月に行われた四葉会総会や学年・学級懇談会において、参加数が低い傾向にあり、教育方針や目標を全家庭に直接伝えることができていない。今後も各種通信や懇談会等の機会を通して伝えていきたい。 |   | 職員が100%、生徒が92%、保護者が85%だった。教職員と生徒の感覚が近いので概ね確かな結果といえる。保護者に対し、授業参観以外でも授業改善の取組について積極的に情報発信を行ってきたい。 |

| 学習指導・学習意欲と規律の向上  | キャリア教育   | 道徳教育心の教育  |
|--|--|---|
| 4 学習意欲・学習規律の向上   | 5 キャリア教育の推進  | 6 道徳、心の教育の充実  |
| 教職員 あなた(先生方)は、生徒の学ぶ意欲を高め、節度ある態度で授業に参加するよう指導していると思いますか。                                       | 教職員 学校は、進路情報の提供や職業に関する学習を効果的に行っていると思いますか。  | 教職員 先生方は、互いを認め合い、思いやりや感謝の心を大切にする教育の充実に努めていると思いますか。  |
| 生徒 あなたは、学ぶことへの意欲をもち、節度ある態度で授業を受けようとしていると思いますか。   | 生徒 学校で、進路の情報や職業についての知識を得ることができていますか。   | 生徒 先生方は、互いを認め合い、思いやりや感謝の心を大切にすることを教えてくれていると思いますか。   |
| 保護者 お子さんは、学ぶことへの意欲をもち、節度ある態度で授業を受けていると思いますか。   | 保護者 学校は、進路情報の提供や職業に関する学習を効果的に行っていると思いますか。  | 保護者 学校は、互いを認め合い、思いやりや感謝の心を大切にする教育の充実に努めていると思いますか。   |
| 教職員 100%<br>生徒 89%<br>保護者 79%  | 教職員 100%<br>生徒 84%<br>保護者 71%  | 教職員 100%<br>生徒 91%<br>保護者 89%   |
| 分析・考察  | 分析・考察  | 分析・考察   |
| 職員は100%、生徒は89%、保護者は79%だった。教職員と保護者の認識のずれが大きい。家庭に学力向上の取組や実態などの情報発信を強化し、家庭学習の改善など家庭との連携を図ってきたい。 | 職員は100%、生徒は84%、保護者は71%だった。2年の職場体験学習や3年の進路に関する通信や上級学校説明会に取り組んでいた。上学年になるにつれて、保護者の意識が高まる傾向にある。下学年での効果的な啓発を図ってきたい。 | 職員は100%、生徒は91%、保護者が89%だった。職員は道徳の充実と心の教育を意識した取組を継続し、生徒の自覚を促している。学級通信等で道徳の授業内容について保護者への情報発信ができています。学級もある。更に充実を図りたい。 |

| 道徳教育心の教育  | 人権教育   |
|---|--|
| 7 あいさつ、礼儀の励行  | 8 一人一人の生徒の尊重   |
| 教職員 生徒は、あいさつや「感謝一礼」がきちんとできていると思いますか。  | 教職員 学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。   |
| 生徒 あなたは、あいさつや「感謝一礼」がきちんとできていると思いますか。  | 生徒 先生方は、みんな一人一人の気持ちを考えて接してくれていると思いますか。   |
| 保護者 お子さんは、あいさつや「感謝一礼」がきちんとできていると思いますか。  | 保護者 学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。   |
| 教職員 67%<br>生徒 87%<br>保護者 86%  | 教職員 100%<br>生徒 83%<br>保護者 77%  |
| 分析・考察   | 分析・考察  |
| 職員は67%、生徒は87%、保護者は86%だった。職員の評価が大きく下がった背景には、感謝一礼の定着、立ち止まり挨拶やすれ違い時の挨拶の個人差が大きいことがある。生徒会活動を中心として意識改善を進めていきたい。 | 職員は100%、生徒は83%、保護者が77%だった。教職員と保護者との認識のずれが大きい。保護者が最も低い背景について考察し、一人一人を大切にする指導や対応を更に心がけていきたい。 |

|   |
|---|
| 9 友だちへの思いやり   |
| 教職員 生徒は、クラスの仲間や友だちとなかよくしていると思いますか。  |
| 生徒 あなたは、クラスの仲間や友だちとなかよくしていると思いますか。  |
| 保護者 お子さんは、クラスの仲間や友だちとなかよくしていると思いますか。  |
| 教職員 92%<br>生徒 91%<br>保護者 92%  |
| 分析・考察   |
| 職員は92%、生徒は91%、保護者は92%であった。友だちとの関係づくりは概ねできていると感じる。ただ、100%に至らない背景にある課題を負われた生徒の存在について、更に共通理解と共通実践を深めていきたい。 |

| 学校行事  | 生徒指導教育相談  |
|---|---|
| 10 学校行事への参加と工夫  | 11 生徒理解   |
| 教職員 学校は、生徒が主体的に活動できるように、学校行事の取組を工夫していると思いますか。   | 教職員 あなた(先生方)は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。   |
| 生徒 あなたは、体育大会や文化祭などの学校行事へ主体的に取り組んでいると思いますか。  | 生徒 先生方は、あなたのことをよく分かろうとしてくれていると思いますか。  |
| 保護者 学校は、生徒が主体的に活動できるように、学校行事の取組を工夫していると思いますか。   | 保護者 先生方は、子どものことをよく理解しようとしていると思いますか。   |
| 教職員 100%<br>生徒 94%<br>保護者 90%   | 教職員 100%<br>生徒 94%<br>保護者 84%   |
| 分析・考察   | 分析・考察   |
| 職員は100%、生徒は94%、保護者は90%であった。概ね高い評価を得ている背景には、教職員の創意工夫や地域の協力はもちろん、生徒の主体的な活動が認められたことがある。今後も生徒主体で取り組めるように、更なる工夫・改善を図ってきたい。 | 職員は100%、生徒は94%、保護者は84%だった。おおむね満足いく評価であった。日頃の会話やコメントのやり取り、定期的なアンケートや組織的な教育相談など更に充実した取組を図るとともに、家庭と連携できるように工夫・改善を行ってきたい。 |

|   |
|---|
| 12 規範意識   |
| 教職員 生徒は、生活の心得やマナーを守り、安心・安全に生活しようとしていると思いますか。  |
| 生徒 あなたは、生活の心得やマナーを守り、皆が安心・安全に生活できるようにしていると思いますか。  |
| 保護者 お子さんは、生活の心得やマナーを守り、安心・安全に生活しようとしていると思いますか。  |
| 教職員 88%<br>生徒 84%<br>保護者 92%  |
| 分析・考察   |
| 職員は88%、生徒は84%、保護者は92%だった。生徒が最も低い結果であった。安心・安全な学校生活を送るために改善すべき点があると感じていることがあるので、生徒会を中心として自分たちの生活を見直し、改善を図る取組を充実させていきたい。 |

| 生徒指導教育相談  | 安全管理  | 保健管理  |
|---|---|---|
| 13 いじめや問題への対応   | 14 安全と事故防止  | 15 食育の推進  |
| 教職員 学校は、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。  | 教職員 学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。  | 教職員 学校は、食事や睡眠など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。  |
| 生徒 先生方は、いじめや問題があったときよく話を聞いてくれると思いますか。   | 生徒 先生方は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。  | 生徒 先生方は、食事や睡眠など健康に注意して生活することの大切さを教えてくれますか。  |
| 保護者 学校は、いじめや問題があったときすぐに対応してくれていると思いますか。   | 保護者 学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。  | 保護者 学校は、食事や睡眠など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。  |
| 教職員 100%<br>生徒 90%<br>保護者 80%   | 教職員 100%<br>保護者 92%   | 教職員 96%<br>生徒 90%<br>保護者 82%  |
| 分析・考察   | 分析・考察   | 分析・考察   |
| 職員は100%、生徒は90%、保護者は80%だった。職員と生徒の意識は近く評価も高いが、保護者の評価は物足りない。問題の早期発見・早期解決に向けて保護者と連携を密にしながら、丁寧な説明や対応を図ってきたい。 | 職員は100%、保護者は92%だった。概ね高い評価を得ている。今後も日々の安全点検を確実に実施し、改善すべき箇所があれば早急に対処するとともに、事故防止の指導と安全意識の向上に努めたい。 | 職員は96%、生徒は90%、保護者は82%だった。小中一貫・連携教育や幼保等小中連携での取組の周知などが不足していたように思う。三点固定運動を中心に、八千把校区内共通での取組やそれらの結果について情報発信を進めていきたい。 |

| 学校環境  | 情報の公開・発信  |
|---|---|
| 16 環境の整理・美化   | 18 学校の子定等がわかる情報発信   |
| 教職員 学校は、校舎内外(教室環境や掲示物、花壇など)がきちんと整理されていると思いますか。  | 教職員 学校からの文書やメール等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。  |
| 生徒 学校は、校舎内外(教室環境や掲示物、花壇など)がきちんと整理されていると思いますか。   | 生徒 学校からの文書やメール等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。   |
| 保護者 学校は、校舎内外(教室環境や掲示物、花壇など)がきちんと整理されていると思いますか。  | 保護者 学校からの文書やメール等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。  |
| 教職員 84%<br>生徒 86%<br>保護者 96%  | 教職員 96%<br>保護者 87%  |
| 分析・考察   | 分析・考察   |
| 職員は84%、生徒は86%、保護者は96%であった。花壇や掲示物の整備、トイレの美化に課題が見られる。生徒会を中心にボランティア活動が行われており、運動場に雑草は見られないが、際の部分に成長した雑草が見られるので改善が必要である。 | 職員は96%、保護者は87%であった。学級、学年、学校、進路、保健、図書など多くの通信を通して情報が発信されている。一方で、確実に伝わっているか等が今後の大きな改善点であるといえる。学校HPや安心・安全メール等の活用を充実させていきたい。 |

|      |  |  |   |
|------|--|--|---|
| 評価基準 | 4・・・そう思う(75%以上達成)<br>3・・・どちらかといえばそう思う(50%以上～75%未満達成) | 2・・・どちらかといえばそう思わない(25%以上～50%未満達成)<br>1・・・そう思わない(25%未満達成) | 調査人数(令和7年9月調査)「4」・「3」と回答した割合(%)<br>保護者 240人(70%) 生徒 293人(85%) 教職員 25人(100%) |
|------|--|--|---|

| 情報の公開・発信   |   |
|--|---|
| 19 教育活動への参加  |   |
| 教職員  | 学校が公開している教育活動(行事、授業等)は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。 |
| 生徒   |   |
| 保護者  | 学校が公開している教育活動(行事、授業等)は、参加しやすいと思いますか。          |
| <div><div><div>教職員</div><div>保護者</div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>96%</div><div>92%</div></div> |   |
| 分析・考察  |   |
| 職員は96%、保護者は92%であった。授業参観、体育大会等の行事について、安心・安全メールでお知らせしてきた。年間計画の変更等は学校HPに掲載するなど情報を得られるようにしているが、周知の徹底を図っていきたい。  |   |

| 家庭・地域との連携  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 20 家庭や地域との連携協力   |                                      |
| 教職員  | 学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。 |
| 生徒   |                                      |
| 保護者  | 先生方は、保護者と連携を図りながら教育活動を進めていると思いますか。   |
| <div><div><div>教職員</div><div>保護者</div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>96%</div><div>78%</div></div> |                                      |
| 分析・考察  |                                      |
| 職員は96%、保護者は78%であった。学校運営協議会(コミュニティスクール)との連携や、地域学校協働活動の取組や地域コーディネーターの活用により様々な学校協力活動で地域人材の活用が図られている。家庭との連携についても協議し、工夫を重ねていきたい。  |                                      |

| 部活動   |  |
|---|--|
| 21 適正な部活動の運営  |  |
| 教職員   | 学校は、子どもがやる気のもてる指導と適正な部活動の運営を行っていると思いますか。     |
| 生徒  | 先生方は、自分のよさを生かし、やる気をもって参加できるような部活動指導をしてくれますか。 |
| 保護者   | 学校は、子どもがやる気のもてる指導と適正な部活動の運営を行っていると思いますか。     |
| <div><div><div>教職員</div><div>生徒</div><div>保護者</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>96%</div><div>85%</div><div>81%</div></div> |  |
| 分析・考察   |  |
| 職員は96%、生徒は85%、保護者は81%であった。概ね充実した活動は維持できている。指導方針等をしっかり伝えながら保護者との協力体制も整えていきたい。拠点校部活動がスタートしているのて、今後を見据えた取組の在り方を更に検討していく必要がある。  |  |

| くまとの教職員像   |   |
|--|---|
| 22 教育的愛情と人権感覚  |   |
| 教職員  | あなた(先生方)は、豊かな人権感覚をもち、一人一人に温かく、また公平に接していると思いますか。 |
| 生徒   | 先生方は、一人一人に温かく、また公平に接してくれていますか。                  |
| 保護者  | 先生方は、豊かな人権感覚をもち、一人一人に温かく、また公平に接していると思いますか。      |
| <div><div><div>教職員</div><div>生徒</div><div>保護者</div></div><div><div><div></div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>100%</div><div>81%</div><div>81%</div></div> |   |
| 分析・考察  |   |
| 職員は100%、生徒と保護者は81%だった。人権感覚を磨くことは今後も続けていくことが大切である。また、公平に接することについて、職員と生徒、保護者に意識の差が見られる。職員・生徒・保護者がともに学び、理解し合う機会もつくる工夫も必要と考える。   |   |

| くまとの教職員像   |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 23 組織の一員としての自覚   |                                      |
| 教職員  | 学校は、先生方が連携・協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。   |
| 生徒   |                                      |
| 保護者  | 学校は、先生方が連携・協力しながら教育活動に取り組んでいると思いますか。 |
| <div><div><div>教職員</div><div>保護者</div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>92%</div><div>87%</div></div> |                                      |
| 分析・考察  |                                      |
| 職員は92%、保護者は87%であった。職員が連携・協力しているかを保護者がどのように判断しているか測りにくい。まずは、共通理解・共通認識のもと同じゴールを目指した指導と共通実践を心がけていきたい  |                                      |

| 生きる力の育成  |   |
|--|---|
| 24 確かな学力①  |   |
| 教職員  | あなた(先生方)は、チャイムで始まり、チャイムで終わる授業を心がけていると思いますか。 |
| 生徒   | あなたは、1分前着席を意識し、落ち着いて授業にのぞむことができていると思いますか。   |
| 保護者  |   |
| <div><div><div>教職員</div><div>生徒</div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>100%</div><div>90%</div></div> |   |
| 分析・考察  |   |
| 職員は100%、生徒は90%であった。教職員と生徒の大部分がチャイム前着席、黙想からの授業開始を意識している。今後更に生徒も100%に近づけるよう、全職員による共通実践の徹底、生徒会活動による意識向上に努めたい。   |   |

| 生きる力の育成   |   |
|---|---|
| 25 確かな学力②   |   |
| 教職員   | あなた(先生方)は、生徒が自分の考えをもち、互いの考えを伝え合う授業を行っていると思いますか。 |
| 生徒  | 先生は、生徒が自分の考えをもち、互いの考えを伝え合う授業を行っている。             |
| 保護者   |   |
| <div><div><div>教職員</div><div>生徒</div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>96%</div><div>89%</div></div> |   |
| 分析・考察   |   |
| 職員は96%、生徒は89%であった。生徒の主体的な学習を促しながら学力向上をめざす『四中授業モデル』を意識した授業改善が職員間で高まってきている。今後も授業改善と学力向上に向けた共通実践を重ねたい。   |   |

| 生きる力の育成   |   |
|---|---|
| 26 確かな学力③   |   |
| 教職員   | あなた(先生方)は、「まとめ」や「振り返り」を通して、学習内容を深めるようにしていると思いますか。 |
| 生徒  | 先生は、「まとめ」や「振り返り」を通して、生徒が学習内容を確かめたり深めたりする授業を行っている。 |
| 保護者   |   |
| <div><div><div>教職員</div><div>生徒</div></div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>96%</div><div>90%</div></div> |   |
| 分析・考察   |   |
| 職員は96%、生徒は89%だった。本校では、今年度の校内研修において、学力向上の取組の1つとして「まとめ」や「振り返り」による学びの自覚化に力を入れている。今後も職員・生徒の更なる意識向上に努めたい。  |   |

| 生きる力の育成   |  |
|---|--|
| 27 豊かな心①  |  |
| 教職員   | あなた(先生方)は、いじめを絶対に許さないという姿勢で生徒の指導にあたっていると思いますか。 |
| 生徒  |  |
| 保護者   |  |
| <div><div><div>教職員</div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>100%</div></div> |  |
| 分析・考察   |  |
| 職員は100%であった。いじめを許さない、なくしていくという強い信念を今後も忘れずに、日々の指導にあたっていきたい。いじめの定義や対応については今後も研修棟を実施し、定期的に確認したい。   |  |

| 生きる力の育成   |   |
|---|---|
| 28 豊かな心②  |   |
| 教職員   | あなた(先生方)は、アンケートや軌跡ノートに書く生徒のサインを過さないようにしていると思いますか。 |
| 生徒  |   |
| 保護者   |   |
| <div><div><div>教職員</div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>100%</div></div> |   |
| 分析・考察   |   |
| 職員は100%であった。すべての生徒と毎日コミュニケーションをとる事は難しいので、多忙な中でも可能な限り『軌跡』ノートの見取り等を行い、生徒の様子を把握していきたい。また、職員間の連携や情報交換も更に工夫を重ねていきたい。   |   |

| 生きる力の育成  |   |
|--|---|
| 29 豊かな心③   |   |
| 教職員  | あなた(先生方)は、互いに認め合い、安心できる集団(学級)づくりに努めていると思いますか。 |
| 生徒   |   |
| 保護者  |   |
| <div><div><div>教職員</div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>92%</div></div> |   |
| 分析・考察  |   |
| 職員は92%であった。行事等を通して、学級が一致団結し目標に向かって努力する姿が見られた。今後も自己肯定感や支持的風土を高める取組を継続し、よりよい集団づくりと心地よい居場所づくりにつなげていきたい。   |   |

| 生きる力の育成  |  |
|--|--|
| 30 健やかな体   |  |
| 教職員  | あなた(先生方)は、三点固定の定着や適切なメディア使用など生徒が健やかに生活できるようになっていると思いますか。 |
| 生徒   |  |
| 保護者  |  |
| <div><div><div>教職員</div></div><div><div><div></div></div><div><div></div></div></div><div><div>0%</div><div>20%</div><div>40%</div><div>60%</div><div>80%</div><div>100%</div></div><div>88%</div></div> |  |
| 分析・考察  |  |
| 職員は88%だった。三点固定運動ではメディア使用について課題が見られる。また、授業中に居眠りをする生徒が一部見られる。今後も共通認識を図りながら、教職員一丸となって根気強く声かけや指導を継続していきたい。   |  |

### 〈補足資料〉

## 25 確かな学力② 生徒による教科ごとの評価

先生は、生徒が自分の考えをもち、互いの考えを伝え合う授業を行っている。

| 教科 | 評価割合 |
|----|------|
| 国語 | 93%  |
| 社会 | 94%  |
| 数学 | 87%  |
| 理科 | 85%  |
| 英語 | 87%  |
| 音楽 | 80%  |
| 美術 | 80%  |
| 保体 | 92%  |
| 技術 | 92%  |
| 家庭 | 89%  |
| 道徳 | 95%  |

0% 20% 40% 60% 80% 100%

最も低い評価で80%、全体平均で89%とおおね満足いく評価を得ることができた。校内研修のテーマ『自ら学び、互いに認め合う生徒の育成』の実現を意識した取組が継続できていると考える。

26

確かな学力③ 生徒による教科ごとの評価

先生は、「まとめ」や「振り返り」を通して、生徒が学習内容を確かめたり深めたりする授業を行っている。

| 教科 | 評価割合 (%) |
|----|----------|
| 国語 | 92%      |
| 社会 | 96%      |
| 数学 | 95%      |
| 理科 | 88%      |
| 英語 | 83%      |
| 音楽 | 89%      |
| 美術 | 80%      |
| 保体 | 89%      |
| 技術 | 93%      |
| 家庭 | 92%      |
| 道徳 | 94%      |

最も低い評価で80%、全体平均で90%と高い評価を得ることができた。校内研修において、学習内容の定着と意欲の向上を図る取組として『振り返り』の工夫を検証している。今後も学びの自覚化を促す『まとめ』と『振り返り』の充実を図る取組を工夫していきたい。

| 前期のまとめと後期への志向  |
|--|
| 〈前期のまとめ〉<br>生徒たちは全体的に落ち着いた生活を送ることができている。体育大会等の行事にも3年生が中心となり、生徒主体となった活動を意識しながら取り組み、達成感や成就感を味わうことができるものであった。生徒会活動も充実し、日々の委員会活動の充実を図りながら集団の質向上をめざしている。職員集団の協力体制や組織的対応も図られている。<br>一方で、大きな改善点がいくつか挙げられる。<br>①学習意欲と規律の向上<br>②キャリア教育の推進<br>③あいさつ、礼儀の励行<br>④一人一人の生徒の尊重 など  |
| 〈後期への志向〉<br>生徒のよさや四中のよき伝統に更に磨きをかけるために、本年度より組織の見直しを行い、活性化を図っている生徒会活動の更なる充実を図り、生徒のよさを積極的に認め、褒め、励まし、伸ばしていきたい。<br>そして、上記の課題について、関連する校務分掌を中心に協議を重ね、教職員全体で共通理解を図りながら、共通実践をしていきたい。特に、生徒の学ぶ意欲の向上や学習規律の徹底など授業改善を図るとともに、「軌跡」ノートを活用した家庭学習の取組および適切な見取りと支援を充実させることで、学習習慣の定着と意欲の向上につなげていきたい。<br>後期も学校・地域・保護者が連携しながら「夢と志をもち、自ら正しく判断し行動できる、逞しい生徒の育成」を目指していきたい。 |